

山形県 伊藤 進 様

「折り紙」普及をはかりたい

私が折り紙と出会ったのは十代の中頃でした。ふと手にした雑誌の折り紙の記事に魅せられて、不器用な手で折っているうちに、一枚の紙がまるで生きてるように立体的になることに快感を覚えて萬中になつて折っていました。しかし、三〇代にもなると会社の役付きになつたこともあり、折り紙のことはすっかり忘れておりました。そして、六〇才の停年を過ぎて空き時間が多くなつたことで、市のボランティア協会等で折り紙の指導をするようになったのですが、ゲーム機の普及もあり折り紙への関心はどんどん低下するようになつたのです。そんな中で私は、日本の伝統でもある折り紙を何んとかもつと普及させたいと考え、市の社会福祉協議会に呼びかけて折り紙の普及をはかると共に、自分の高齢でもあることから、折り紙を教える指導者の育成も積極的に行ないたいと思っています。この世に生を受けた自分の最後の夢をぜひ実現させたいと頑張っているところです。